

要介護認定広域事務処理支援システム

自治体によって審査会の運用形態が異なり、単独開催、一部事務組合、共同開催など様々な形態があります。弊社のシステムでは、一部事務組合、共同開催といった広域対応に重きを置いて、自治体用のシステムと事務局用のシステムの2種類がございます。

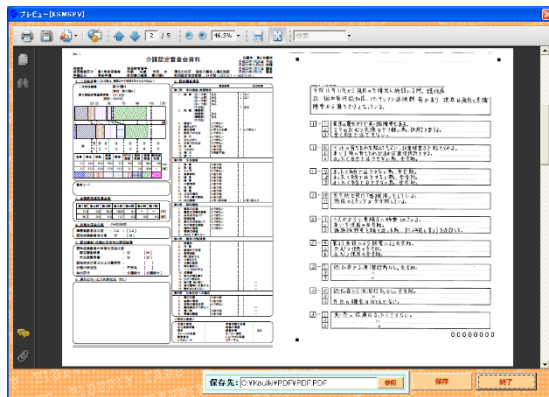
審査会資料作成事務の負荷を軽減

審査会資料印刷機能により、現在行っている大量のコピー、製本作業が不要になります。

ペーパーレス化にも対応しており、現在広く普及している、AdobeReaderにて閲覧できるPDF形式でのファイル出力が可能です。

審査会資料の特長

- ・A3、A4見開きで印刷
- ・製本機能(パンチ穴、ホチキス止め)



審査会資料プレビュー画面

審査会運営事務の効率化

審査会場とネットワーク接続が可能であれば、紙での審査を行わず、PCを審査会場に持ち込み、審査会資料を閲覧・審査することが可能です。

また、報酬管理機能も備えており、審査会開催実績から審査員の実績を集計、月次集計を行ない、報酬管理を行なうことが可能です。



審査会資料スクリーン画面



審査員謝金集計画面

標準で、ADWORLD介護保険システムの被保険者情報等をボタン一つで連携可能です。また、Windows Serverのリモートデスクトップサービスに対応しておりますので、IDC利用等のセキュリティに配慮したシステム構成が可能な製品です。



機能・概要

広域運用機能

自治体用のシステムと事務局用のシステムの2種類があり、一部事務組合、共同開催といった広域での運用が可能です。

自治体用のシステムは、主に訪問調査や主治医意見書等の管理、事務局へデータ提供となります。

事務局用のシステムは、主に自治体より提供される情報の管理、審査会の管理となります。

もちろん、単独開催でも導入することが可能です。

一次判定関連機能

一次判定処理機能を本システムに組込んでおりますので、認定ソフトを使用せずに、実施することが可能です。認定ソフトを使用する機会は、センター送信時のみとなり、運用もシンプルでわかりやすくなっております。

また、認定ソフトに準拠したインターフェースを各種用意しておりますので、必要に応じて、取込、抽出を行なうことが可能です。

訪問調査票、主治医意見書のOCR機能

高価なOCR装置ではなく、イメージスキャナにて処理を行ないますので、安価な費用で導入できます。

また、専用用紙ではなく、A4白紙にてマークシートを印刷したものを読込しますので、ランニングコストも抑えることが可能です。

各種集計機能

認定業務に関する情報を容易に集計することが可能です。一覧形式や、要介護等の集計値を算出することも可能です。出力形式もExcel、csvの選択が可能です。

また、訪問調査員、主治医の実績管理も行なうことが可能です。

その他

最新のOS(Windows 7、Windows 2008 Server、Windows 2012 Server)に対応しておりますので、導入もしやすくなっております。

また、ネットワークに関しては、自治体間同士または事務局ー自治体間をネットワークで結びますので、データ量に応じて、ISDN回線から光回線まで利用可能です。

お問い合わせ

株式会社 **福島情報処理センター**

公共営業部

TEL 024-923-2116

FAX 024-938-6762

Mall kjoho@fic.co.jp